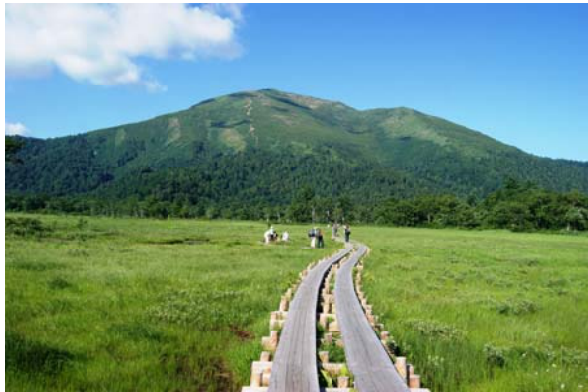


管内の百名山 「至仏山」



尾瀬ヶ原木道から望む至仏山



可憐に咲くホソバヒナウススキソウ

至仏山（標高2,228㍎）は、群馬県利根郡片品村とみなかみ町にまたがり、尾瀬国立公園尾瀬ヶ原の南西に位置しています。

深田久弥の日本百名山には、尾瀬から2峰が選ばれておりますが、ひとつはこの山域の最高峰である燧ヶ岳、そしてもうひとつがこの至仏山です。

尾瀬ヶ原をより引き立てる山容は「尾瀬の女王」と呼ばれるにふさわしい気品と風格があり、向かい合う燧ヶ岳とともに尾瀬の風景に芸術的なシルエットを醸し出しています。

山体の上部は塩基性の強い蛇紋岩の影響で森林限界が低く、展望が抜群にいいのも大きな魅力です。

また、オゼソウや欧州のエーデルワイスに近縁のホソバヒナウススキソウなど高山植物の宝庫ですが、貴重な高山植物を保護するために、7月の山開きまで入山規制を行っています。人目を避けるようにひっそりと花を咲かせる神秘性は多くの人々を引きつけてやみません。

至仏山への登山基地となるのは、広大な駐車場と休憩所・山小屋が完備された鳩待峠口が一般的であり、山頂までは約2時間程度で踏破することができます。

山頂まで登ればみごとな眺望が開け、尾瀬ヶ原の奥にそびえる燧ヶ岳をはじめ会津駒ヶ岳、平ヶ岳、越後駒ヶ岳、中ノ岳、日光白根山など、「日本百名山」に名を連ねる山々が一望できます。

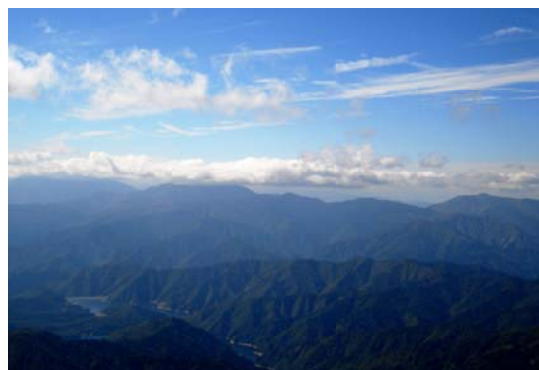
至仏山周辺は、この豊かな自然環境の維持、動植物の保護などを目的に、「至仏山・笠ヶ岳西面県自然環境保全地域」に指定されています。

利根沼田森林管理署では、森林保護員（グリーンサポートスタッフ）の活動などを通じ、至仏山周辺における豊かな自然の保全活動、登山者へのマナー向上を呼びかけていきたいと考えています。

（利根沼田森林管理署 広報広聴連絡官）



賑わう鳩待峠



至仏山山頂からみなかみ町方面を望む